

著書

- ・『承久記』新撰日本古典文庫1（現代思潮社 一九七四年九月）
- ・『平家物語必携』（共著 学燈社 一九八五年十一月）
- ・『室町軍記総覧』（共著 和泉書院 一九八五年十二月）
- ・『畿内戦国軍記集』（共著 和泉書院 一九八九年一月）
- ・『室町軍記の研究』（和泉書院 一九九五年三月）
- ・『室町軍記 赤松盛衰記 — 研究と資料 —』（共著 国書刊行会 一九九五年九月）
- ・『別所記 — 研究と資料 —』（共著 和泉書院 一九九六年三月）
- ・『戦国軍記事典 群雄割拠篇』（共著 和泉書院 一九九七年二月）
- ・新編日本古典文学全集『将門記 陸奥話記 保元物語 平治物語』（共著 小学館 二〇〇二年九月）
- ・『新訂 承久記』（現代思潮新社 二〇〇六年九月）
- ・『平家物語ハンドブック』（共著 三省堂 二〇〇七年二月）
- ・『戦国軍記事典 天下統一篇』（共著 和泉書院 二〇一一年十二月）

論文

- ・「承久記試論（一）—冒頭より実朝暗殺までを中心として—」（『古典遺産 18』 一九六八年五月）
- ・「応仁記試稿—類従本の成立と性格を中心に—」（『古典遺産 20』 一九六九年十二月）
- ・「曾我物語と謡曲—『小袖曾我』『伏木曾我』を中心として—」（『古典遺産22』 一九七二年六月）
- ・「『太平記』と『応仁記』—『太平記』の影響—」（『太平記研究 2』 一九七二年七月）
- ・「応仁の乱と軍記—応仁別記の場合—」（『軍記と語り物 11』 一九七四年十月）
- ・「『太平記』最近の研究動向—昭和四十八年秋—昭和四十九年末—」（『太平記研究 4』 一九七五年三月）
- ・「『細川勝元記』考」（『古典遺産 26』 一九七五年五月）
- ・「『応仁記』の將軍義政批判をめぐって」（『青須我波良 13』 一九七六年十一月）

- ・「前田家本『承久記』の一側面(上)」(『青須我波良』15) 一九七七年十一月)
- ・「『応仁記』と『野馬台詩』」(『中世文学 資料と論考』一九七八年十一月)
- ・「前田家本『承久記』の一側面(下)」(『青須我波良』17) 一九七八年十一月)
- ・「『承久記』に見る乱直前の後鳥羽院周辺」(『青須我波良』19) 一九七九年十一月)
- ・「『承久記』伊賀光季合戦記事めぐって」(『青須我波良』21) 一九八〇年十一月)
- ・「この世の妄念にかかはられて―後鳥羽院の怨霊―」(『帝塚山短期大学紀要(人文社会科学)』18) 一九八一年一月)
- ・「御伽草子『あきみち』と『義残後覚』」(『帝塚山短期大学紀要(人文・社会)』19) 一九八二年一月)
- ・「『観世又次郎』覚書―その御伽衆的“環境”について―」(『青須我波良』24) 一九八二年七月)
- ・「平家物語の人脈」(『別冊国文学』15) 一九八二年八月)
- ・「『応仁記』の天狗流星記事をめぐって―『太平記』の影響―」(『青須我波良』26) 一九八三年七月)
- ・「慈光寺本『承久記』の土御門院配流記事をめぐって―日付の検討から―」(『青須我波良』28) 一九八四年十二月)
- ・「『承久記』と後鳥羽院の怨霊」(『日本文学』34・5) 一九八五年五月)
- ・「『五代帝王物語』の怪異譚―後鳥羽院の影―」(『青須我波良』30) 一九八五年十一月)
- ・「〔翻刻〕内閣文庫蔵『明德記』(二冊本)・上」(共著 『古典遺産』37) 一九八六年十月)
- ・「大江広元とその子―軍記における京下り官人―」(『青須我波良』32) 一九八六年十二月)
- ・「〔翻刻〕内閣文庫蔵『明德記』(二冊本)・下」(共著 『古典遺産』38) 一九八七年十二月)
- ・「慈光寺本『承久記』の合戦叙述―後人加筆説にふれて―」(『甲南国文』35) 一九八八年三月)
- ・「後期軍記物語研究の軌跡と課題」(『解釈と鑑賞』53・13) 一九八八年十二月)
- ・「『重編応仁記』考―“事実”への執着―」(『甲南国文』37) 一九九〇年三月)
- ・「『応仁記』」(『軍記物語集』早稲田大学蔵蔵資料影印叢書第十七巻) 一九九〇年六月)
- ・「『太平記』研究の手引き」(『国文学』36・2) 一九九一年二月)
- ・「『承久記』の三浦胤義」(『甲南国文』39) 一九九二年三月)
- ・「嘉吉の乱関係軍記の一考察―『赤松盛衰記』をめぐって―」(『甲南国文』40) 一九九三年三月)
- ・「『赤松記』考―嘉吉の乱関係軍記の一考察 続」(『甲南国文』41) 一九九四年三月)
- ・「『中古日本治乱記』目録〔翻刻〕」(共著 『甲南女子大学研究紀要』30) 一九九四年三月)
- ・「後期軍記における諸本の様相―三木合戦関係軍記を中心に―」(『軍記と語り物』33) 一九九七年三月)

- ・ 「『別所記』の虚構性」 (『甲南女子大学研究紀要』 33) 一九九七年三月)
- ・ 「神大本『別所記』と『中国兵乱記』」 (『軍記文学の系譜と展開』 一九九八年三月)
- ・ 「後期軍記研究史と課題」 (『承久記・後期軍記の世界(軍記文学研究叢書)』 一九九九年七月)
- ・ 「陸奥話記研究史の考察と課題」 (『軍記文学の始発 初期軍記』 二〇〇〇年五月)
- ・ 「翻刻 内閣文庫本『承久記』(乾)」 (『甲南女子大学紀要』 37) 二〇〇一年三月)
- ・ 「翻刻 内閣文庫本『承久記』(坤)」 (『甲南女子大学紀要』 文学・文化編 38) 二〇〇二年三月)
- ・ 「翻刻 『新撰信長記』(加賀市立図書館聖藩文庫蔵)」 (『日本文芸論叢』 二〇〇三年三月)
- ・ 「撰津北部の戦国軍記 ―軍記の在地化と変容―」 (『同志社国文学』 62) 二〇〇六年七月)
- ・ 「籠城・落城の日記と軍記」 (『日本文学』 55-7) 二〇〇六年七月)
- ・ 「『別所記』拾遺」 (『甲南女子大学紀要』 文学・文化編 43) 二〇〇七年三月)
- ・ 「夜話と武辺咄」 (『中世文学の回廊』 二〇〇八年三月)
- ・ 「戦国軍記における体験談 ―『伊達日記』と『山口道斎物語』―」 (『古典遺産』 59) 二〇〇九年十二月)
- ・ 「甲南女子大学蔵『丹後田辺御籠城覚書』翻刻と解説」 (『甲南女子大学紀要』 文学・文化編 47) 二〇一一年三月)
- ・ 「田辺籠城軍記の展開」 (『古典遺産』 62) 二〇一三年一月)